

## 事前評価個表

整理番号	13
------	----

地域（地区）名	<small>おしまひやま</small> 渡島檜山地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	函館市ほか17市町
事業実施期間	H23～H27（5年間）	事業実施主体	道、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>渡島檜山森林計画区は、北海道の南西部の渡島半島にある渡島総合振興局と檜山振興局を合わせた地域で、地形は東部の内浦湾から太平洋、西部の日本海、南部は津軽海峡と三方を海に囲まれ中央部を南北に1,000m級の山脈が縦断している縦長の計画区である。</p> <p>本計画区の総面積は657千haのうち、森林面積は530千haで、民有林は52%の274千haを占めており、そのうちスギ及びトドマツを主体とした人工林の面積は84千ha（人工林率31%）となっている。また、森林経営の基盤である公道を含む林内道路密度は11.3m/h aとなっており、このほかに林道の支線として作業道が整備されている。</p> <p>計画区内の民有人工林84千haのうち43千ha（51%）がⅧ齢級以下で、適正な保育を必要とする林齢にある。また、近年の木材価格の低迷と林業従事者の高齢化などにより手入れが不十分な森林が見られるようになってきている。</p> <p>このため、渡島檜山地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を推進する必要がある。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：34,924ha 人工造林、樹下植栽等、下刈、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>路網整備：3,500m 林業専用道開設</p> <p>総事業費：8,688,260千円</p>
費用対効果分析結果	B/C = 5.06
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源かん養、国土保全等の機能の確保に加え、将来の優良材の安定的な生産の上で有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備と路網整備が適切に計画されている。</p> <p>また、効率性、有効性も十分に認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

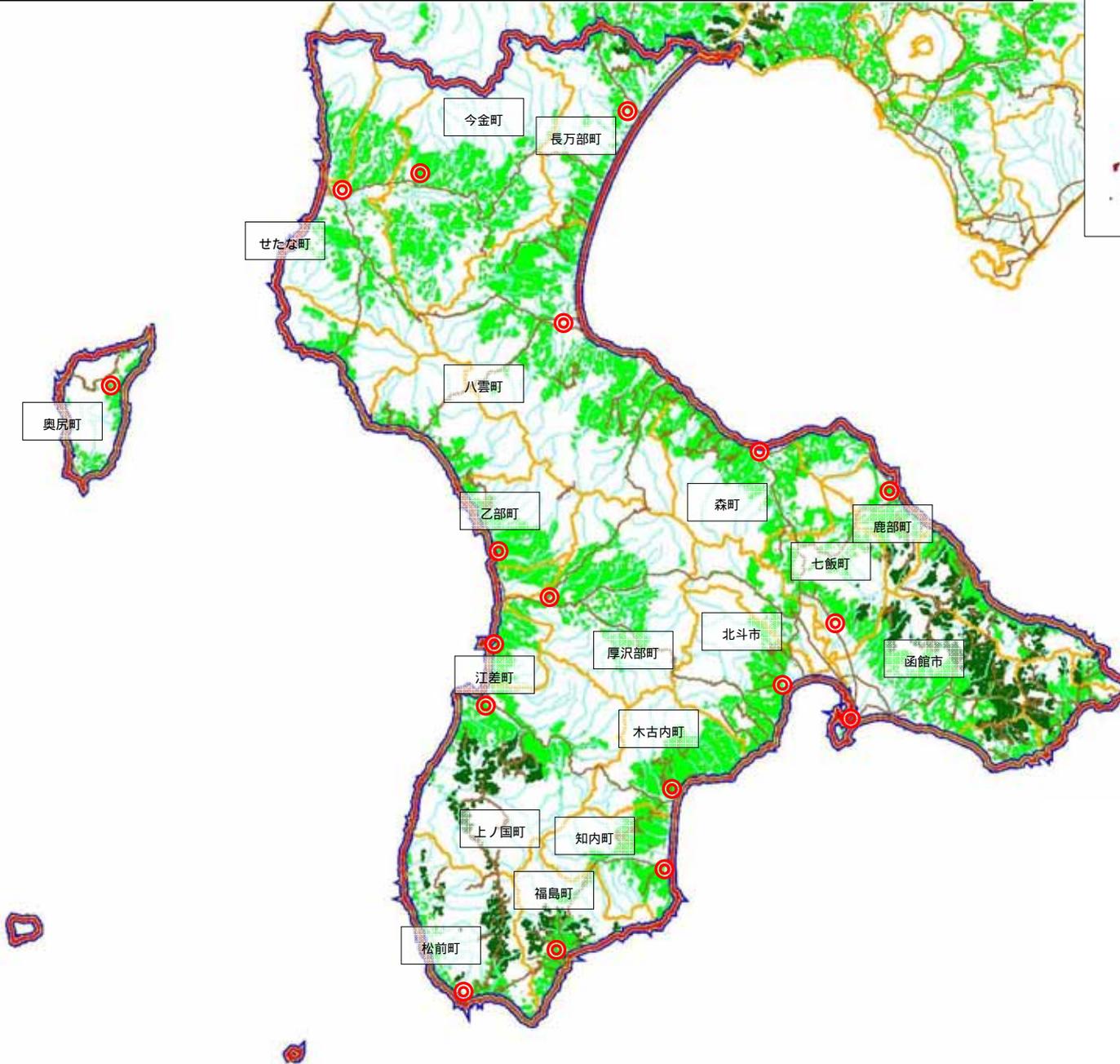
北海道

地域名: 渡島桧山

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	17,316,667	
	流域貯水便益	6,984,045	
	水質浄化便益	11,926,516	
山地保全便益	土砂流出防止便益	26,401,029	
環境保全便益	炭素固定便益	3,927,776	
木材生産便益	生産等経費縮減便益	45,528	
	木材生産確保・促進便益	2,698,694	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	193	
	森林整備促進便益	78,165	
総 便 益 (B)		69,378,613	
総 費 用 (C)		13,689,732	
費用便益比	$B \div C = \frac{69,378,613}{13,689,732} = 5.06$		

# 森林環境保全整備事業 渡島檜山地域（北海道）概要図



凡 例	
計画区界	— (Blue line)
事業区域	— (Yellow line)
森林整備	— (Red line)
国道・主要道	— (Brown line)
河川	— (Light blue line)
市町村界	— (Yellow line)
市町村役場所在地	◎ (Red circle)
一般民有林（人工林）	■ (Light green)
道有林（人工林）	■ (Dark green)

## 事前評価個表

整理番号	14
------	----

地域（地区）名	津軽 <sup>つがる</sup> 地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	青森県	対象市町村	弘前市ほか10市町
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>津軽地域は、青森県の中央部にそびえる八甲田山系の西側から、南西部の白神山地に囲まれた地域に位置し、秋田県境を水源とする岩木川によって津軽平野を形成している。</p> <p>本地域の総面積335,071haのうち森林面積は213,102ha（森林率64%）であり、国有林がそのうち75%の159,953ha、民有林が25%の53,149haとなっている。</p> <p>民有林のうち人工林は28,986ha（55%）で、そのうちスギが21,849haと人工林の75%を占めており、8歳級をピークとした年齢配置となっている。</p> <p>しかしながら、木材価格の低迷等による間伐の遅れから、樹木の生育不良や林床植生の衰退が見られ、間伐を中心とした森林整備が必要となっている。</p> <p>よって、年齢構成に応じた森林整備を推進し、水源かん養、土砂流出防止、地球温暖化防止のための二酸化炭素吸収等、森林の持つ公益的機能を発揮させると共に、間伐材の利用をとおして森林・林業・木材産業の振興に寄与し、資源循環型社会の構築を目指すものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：4,595ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打、間伐等</p> <p>総事業費：1,199,040千円</p>
費用対効果分析結果	B/C = 6.67
評価結果	<p>必要性：森林整備が必要な森林が多く存在することから、森林の公益的機能を高めるためにも事業実施は必要不可欠である。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林資源の有効活用の観点、併せて森林整備による水源かん養、土砂流出防備、また多様な森づくりによる生物多様性等公益的機能の維持増進の観点から有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備が適切に計画されている。また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

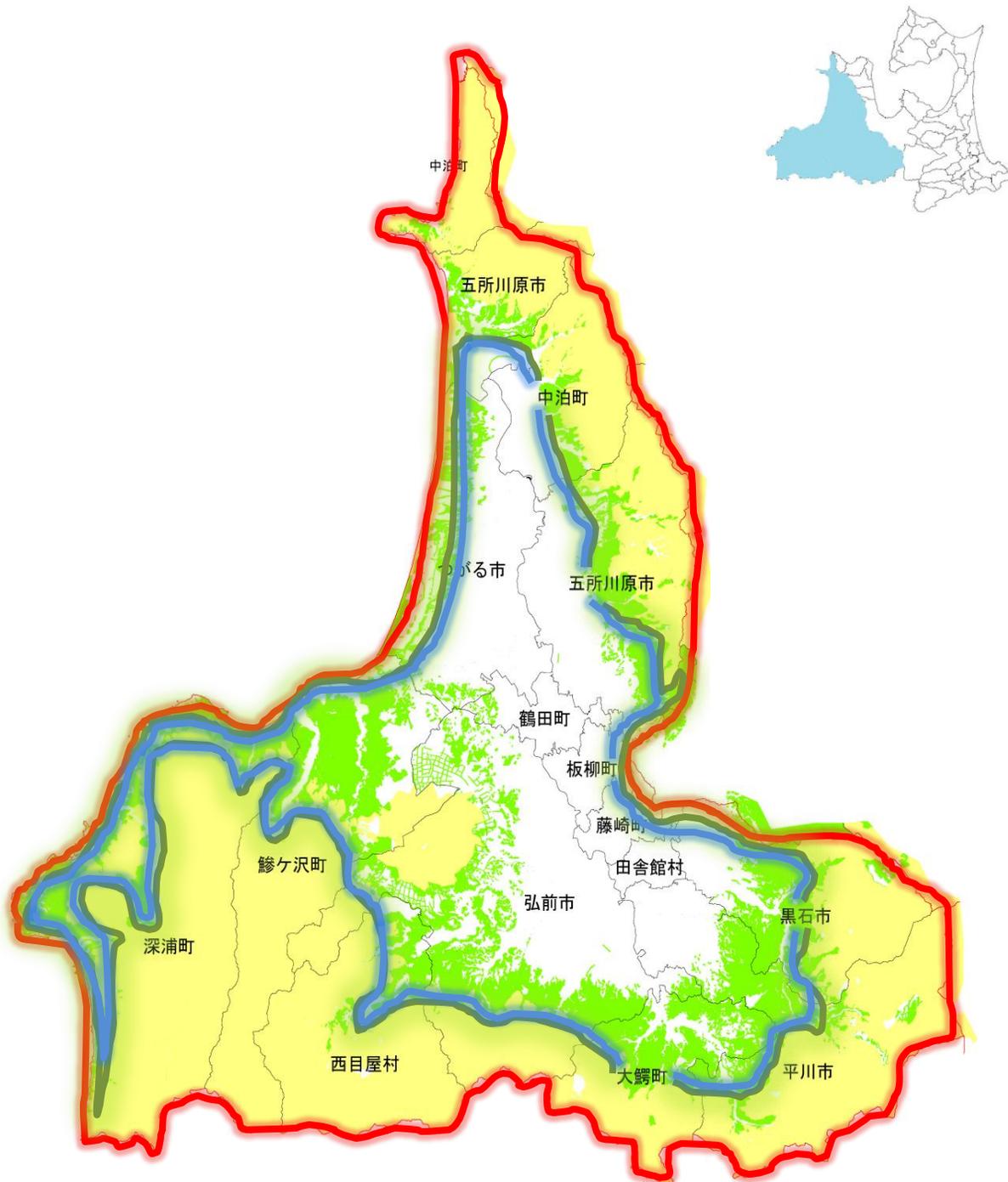
事業名: 森林環境保全整備事業  
 地域名: 津軽

青森県  
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	3,129,366	
	流域貯水便益	868,207	
	水質浄化便益	1,482,208	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,552,536	
	土砂崩壊防止便益	15,962	
環境保全便益	炭素固定便益	814,148	
木材生産便益	木材生産確保・促進便益	1,320,746	
総 便 益 (B)		11,183,172	
総 費 用 (C)		1,676,137	
費用便益比	$B \div C = \frac{11,183,172}{1,676,137} = 6.67$		

# 森林環境保全整備事業 津軽地域(青森県) 概要図

青森県内での位置



## 凡例

計画区域	
事業区域	
森林整備	

## 事前評価個表

整理番号	15
------	----

地域（地区）名	<small>しもきた</small> 下北地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	青森県	対象市町村	むつ市ほか4町村
事業実施期間	H23～H27（5年間）	事業実施主体	県、市、森林組合等

事業の概要・目的	<p>下北地域は、青森県の北東部にある下北半島に位置し、中央部は恐山を中心とする山岳地帯で、太平洋、津軽海峡、陸奥湾に面することから、平野部が少ない地域である。また、四方海に囲まれていることから「やませ」（偏東風）の影響を強く受け冷涼な気候となっており、樹木の生長は他の地域に較べかばしくない。</p> <p>本地域の総面積147,737haのうち森林面積は118,929ha（森林率84%）であり、国有林がそのうち73%の87,214ha、民有林が27%の31,715haとなっている。</p> <p>民有林のうち人工林は16,801haと民有林の53%で、そのうちスギが13,603haと人工林の81%を占め、8齢級をピークとした齢級配置となっている。</p> <p>しかしながら、木材価格の低迷等による間伐の遅れから、樹木の生育不良や林床植生の衰退が見られ、間伐を中心とした森林整備が必要となっている。</p> <p>よって、間伐を中心とした森林整備を推進し、水源かん養、土砂流出防止、地球温暖化防止のための二酸化炭素吸収等、森林の持つ公益的機能を発揮させ、間伐材の利用をとおして森林・林業・木材産業の振興に寄与し、資源循環型社会の構築を目指すものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：6,335ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：1,655,450千円</p>
費用対効果分析結果	B/C = 6.35
評価結果	<p>必要性：森林整備が必要な森林が多く存在することから、森林の公益的機能を高めるためにも事業実施は必要不可欠である。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林資源の有効活用の観点、併せて森林整備による水源かん養、土砂流出防備、また多様な森づくりによる生物多様性等公益的機能の維持増進の観点から有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備が適切に計画されている。また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

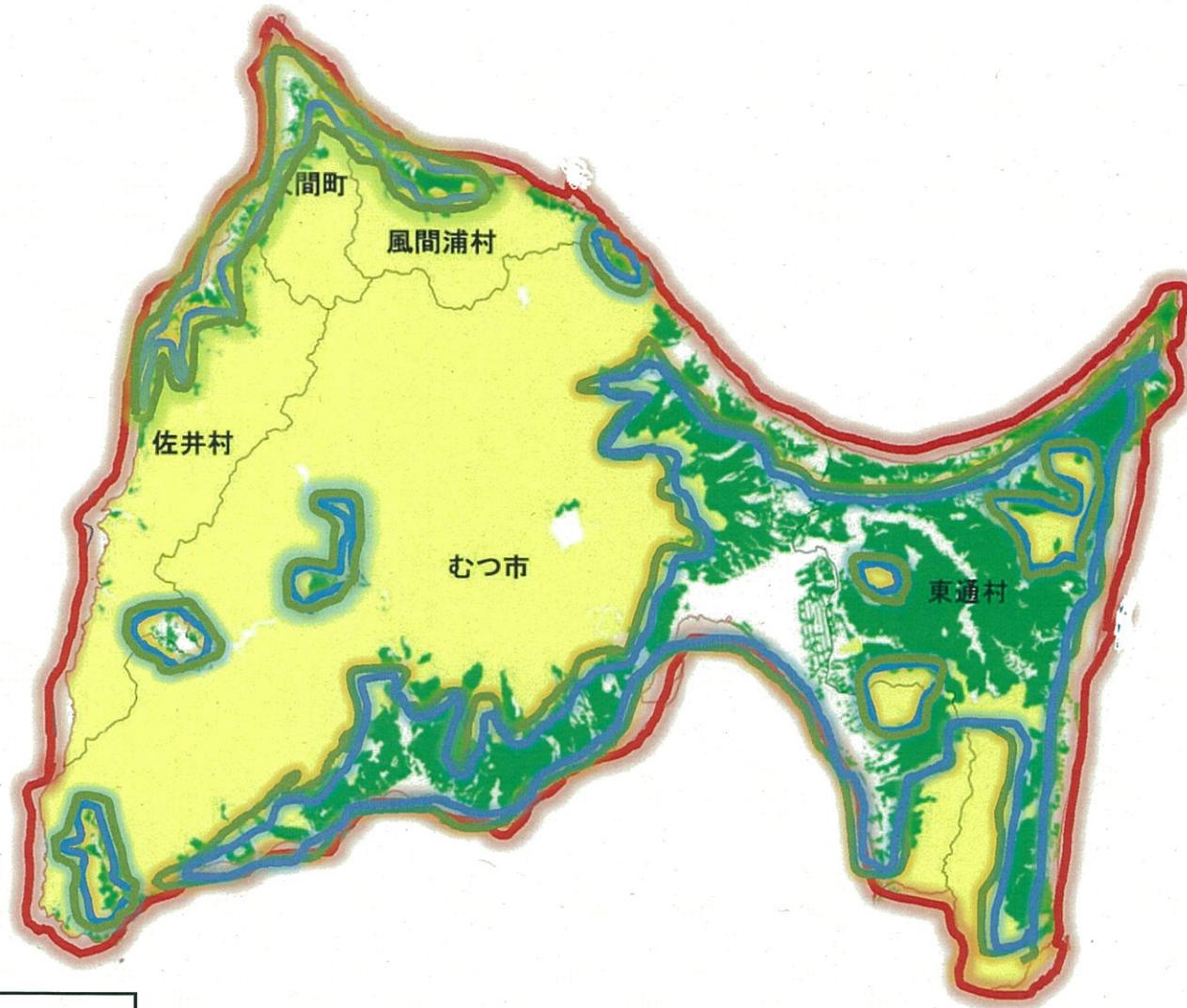
事業名: 森林環境保全整備事業  
 地域名: 下北

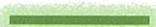
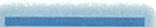
青森県  
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	3,207,790	
	流域貯水便益	1,344,178	
	水質浄化便益	2,294,785	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,907,919	
	土砂崩壊防止便益	11,955	
環境保全便益	炭素固定便益	1,125,382	
木材生産便益	木材生産確保・促進便益	1,822,296	
総 便 益 (B)		14,714,305	
総 費 用 (C)		2,313,968	
費用便益比	$B \div C = \frac{14,714,305}{2,313,968} = 6.35$		

# 森林環境保全整備事業 下北地域(青森県) 概要図

青森県内での位置



凡例	
計画区域	
事業区域	
森林整備	

## 事前評価個表

整理番号	16
------	----

地域（地区）名	<small>さんばちかみきた</small> 三八上北地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	青森県	対象市町村	八戸市ほか15市町村
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、市、森林組合等

事業の概要・目的	<p>三八上北地域は、青森県の中央部にそびえる八甲田山系の東部（太平洋側）に位置し、南は岩手県境に接し、北上山地最北端となっている階上岳に囲まれる地域である。地域全体が十和田火山の影響による丘陵地が発達し、表層土は黒ボクにより覆われ、南部は岩手県から流れる馬淵川により平野部が構成されている。</p> <p>本地域の総面積340,126haのうち森林面積は190,996ha（森林率56%）であり、国有林がそのうち42%の80,801ha、民有林が58%の110,195haとなっており、県内では一番民有林率が高い地域である。</p> <p>民有林のうち人工林は67,926haと民有林の62%で、そのうちスギが45,217haと人工林の67%を占め、9歳級をピークとした年齢配置となっている。</p> <p>しかしながら、木材価格の低迷等による間伐の遅れから、樹木の生育不良や林床植生の衰退が見られ、間伐を中心とした森林整備が必要となっている。</p> <p>よって、間伐を中心とした森林整備を推進し、水源かん養、土砂流出防止、地球温暖化防止のための二酸化炭素吸収等、森林の持つ公益的機能を発揮させ、間伐材の利用をとおして森林・林業・木材産業の振興に寄与し、資源循環型社会の構築を目指すものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：14,440ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：3,781,325千円</p>
費用対効果分析結果	B/C = 5.28
評価結果	<p>必要性：森林整備が必要な森林が多く存在することから、森林の公益的機能を高めるためにも事業実施は必要不可欠である。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林資源の有効活用の観点、併せて森林整備による水源かん養、土砂流出防備、また多様な森づくりによる生物多様性等公益的機能の維持増進の観点から有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備が適切に計画されている。また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

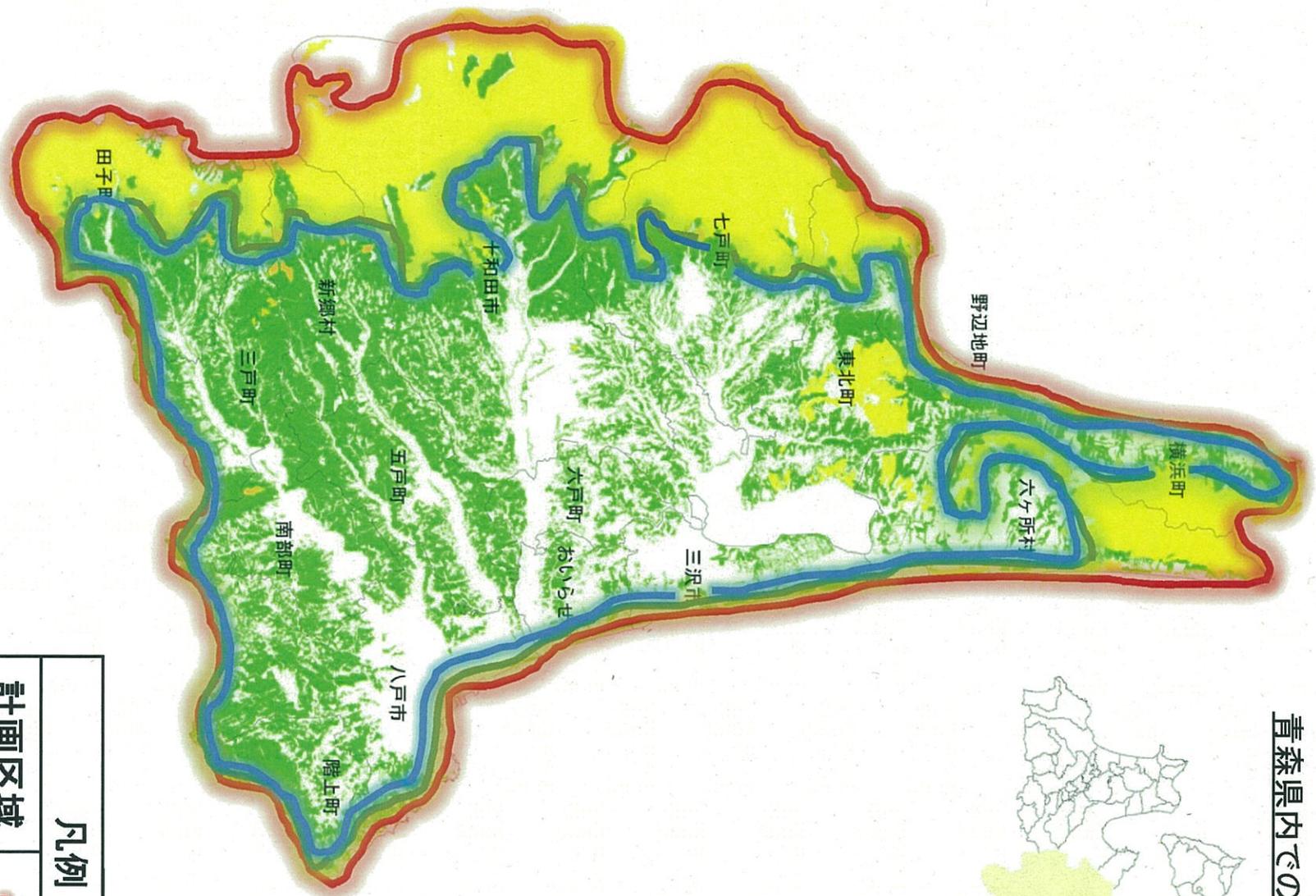
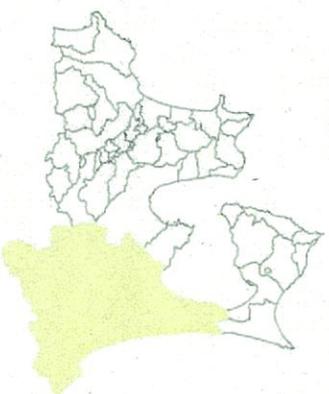
事業名: 森林環境保全整備事業  
 地域名: 三八上北

青森県  
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	6,808,034	
	流域貯水便益	1,936,691	
	水質浄化便益	3,306,312	
山地保全便益	土砂流出防止便益	9,177,772	
	土砂崩壊防止便益	35,017	
環境保全便益	炭素固定便益	2,509,378	
木材生産便益	木材生産確保・促進便益	4,148,229	
総 便 益 (B)		27,921,434	
総 費 用 (C)		5,279,502	
費用便益比	$B \div C = \frac{27,921,434}{5,279,502} = 5.28$		

# 森林環境保全整備事業 三八上北地域(青森県) 概要図

青森県内での位置



凡例	
計画区域	
事業区域	
森林整備	